



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和3年4月16日

No. 1

令和3(2021)年度 1学期始業式 校長あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

昨年度から引き続き、日本人学校で進級した皆さんと、先ほど歓迎式で紹介のあった皆さんを加えて、34名で今日の始業式を迎えることができました。19日には、13名の新入生も加わり、全校47名で1年間のスタートを切ることになります。思い起こせば1年前、新型コロナウイルスの世界的な広がりで、5月にオンラインで始業式を行いました。今年は、4月の予定した日に学校で、こうやって皆さんと一緒に始業式を実施できたことは、大変に素晴らしいことです。しかし、新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。まだまだ、遠足などの校外行事や、人がたくさん集まる運動会やペスタクラバなどの行事は、現時点では実施できません。また、登校が認められているときでも、学校に関係する人たちから、新型コロナウイルスにかかる人が出ると、休校になってしまいます。SOPをしっかりと守り、自分自身のためにも、学校のためにも、新型コロナウイルスにかからないように注意しましょう。注意していてもかかる人が出るかもしれません。その時は、絶対にその人を責めたりしないでください。

今日はまず、新年度の学校生活をスタートするにあたって皆さんに見てほしいものがあります。(マレーシア国章を提示)これは何かわかりますか?これはマレーシアの国章です。国章とは『その国を象徴する紋章』という意味で、国旗よりも複雑なデザインが多く、その国の伝統・文化・歴史をより具体的に、ていねいに表しているものです。皆さんに注目してほしいのは、下のリボンの所に書かれている、マレー語の言葉です。

「BERSEKUTU BERTAMBAH MUTU」(バアルスアクトゥ バアルタンバ ムトゥ)と書かれています。「団結は、力なり」(Unity is power)という意味です。私は、これを見たとき、とても素晴らしく、大切な言葉だと感じました。

マレーシアには、たくさんの民族がいっしょに生活し、様々な宗教も存在しています。それらの人々が、その違いを理由に対立しては、国の発展は止まってしまいます。マレーシアにとって、この「団結は、力なり」という言葉は、国が発展いくためには、非常に重要な意味を持っているのです。

ここで皆さんに考えてほしいのは、この言葉は、マレーシアだけでなく、どこの国、団体、組織等、様々な集団では、重要であるということです。もちろん、ジョホール日本人学校でもとても重要となります。なぜかわかりますか?

それを考える上で、皆さんにまず考えてほしいことがあります。それは、「団結」とはということなのか、ということです。

「同じ目標に向かって、心を1つにする。」

ことだと考える人が多いのではないのでしょうか?その考えは、正しいと思います。ここで大切なことは、みんな同じ考えだから、心を1つにするのではないということです。人はそれぞれ、顔や性格が違うように、考え方も違います。例えば、運動が得意な人にとっては、運動会は楽しみな行事かもしれませんが、苦手な人にとってはつらい行事かもしれません。でも、「みんなの力で、運動会を大成功させよう。」という目標ができれば、運動が得意な人も苦手な人も、心を1つ団結しなければ、行事としては、大成功させることはできません。

自分が所属している集団が、良い集団なのか悪い集団なのかは、この「団結」できる集団かどうかで決まります。そして皆さんは、学校という集団の中にいる1員なので、この学校が良くなるかどうかは、皆さんが心を1つにして団結できるかどうかで決まるのです。私が何度もくりかえし言っている、「自分もまわりも良くできる生き方」とは、目標に向かって、心を1つにして団結できる生き方のことです。人は違って当たり前です。大切なことは、その違いを乗り越えて、団結することです。新型コロナウイルスを乗り越えてよい学校を作るためにも、心を1つにして、素晴らしいジョホール日本人学校を、みんなで作っていきましょう。

